

第 5 章 今後の方向性について

1 今後の方向性と取組について

第4章で示した検証結果のとおり，調布市の学校選択制については，制度導入から10年以上が経過し，概ね，利用者ニーズが充足された制度として市民に定着し，安定した制度運用がなされています。また，今回のアンケート調査の結果から，学校選択制に対する理解が広まり，継続的な制度運用が求められています。

一方，教職員においては，学校規模による格差などを懸念する意見も一部から挙げられています。学校と教育委員会が連携しながら，受入定員を定めるなどの学校規模による格差が極力生まれることのないようにする配慮や教職員の負担を勘案しつつ，制度の充実や運用面での新たな改善を図りながら学校選択制を継続して実施することが適切であると考えます。

また，国や東京都で推進される小中一貫教育やコミュニティスクールの導入に当たっては，様々な課題の解決や現行制度との比較・検証などが必要であるため，引き続き，新たな制度の推進や人口動態の変動など学校を取り巻く状況に注視しつつ，今後も児童生徒・保護者のニーズを的確に捉える必要があります。

本章では，今後，学校選択制をより充実させていくための様々な取組を示します。



2 より良い学校選択ができるための新規取組について

(1) 学校選択制の案内冊子について(新規改善)

学校選択制の制度概要や市立中学校をより理解してもらうために、学校選択制の案内冊子を小学6年生に配布しています。これまでの案内冊子については、記載内容等を各学校に任せており、学校によって掲載している内容が様々でした。

今回のアンケート調査結果では、児童生徒・保護者が入学に際して希望する情報として「部活動の状況」が全体の2割を超える結果となり、最も必要とされている情報であることがわかりました。引き続き、学校選択制に関する情報の提供方法や内容を充実させ、適宜・適切に発信していく必要があります。

さらに、早期の情報提供を望む意見も複数挙げられたことから、案内冊子を配布する対象者のより低学年に拡大することも検討します。

【今回のアンケート調査の結果を受けて実施した取組】

- 各学校の紹介については統一様式を作成し、学校の概要や生徒・学級数などの基本情報に関するレイアウトを統合するなど、案内冊子の全体の見やすさの改善に努めました。

《統一様式による学校の紹介（参考：調布中学校）》

● 各学校の部活動の状況については、「部活動実施状況一覧」を作成することで、明確な比較・対照が可能となりました。

《部活動実施状況一覧》

平成30年度 部活動実施状況一覧								
1 平成31年度の状況により部活動の内容変更や、部活動の継続が困難になることがあります。部活動を選択理由とする場合は、ご本人を含めご家族でよく相談し、慎重に学校を選択してください。								
2 男女の活動状況については次のとおりです。								
○男子のみ、女子のみの部活動は、(男)(女)と表記しています。								
○男女別に活動する部活動は(男女)、男女の区別なく活動する部活動は特段の表記なく○としています。								
学校名	調布中学校	神代中学校	第三中学校	第四中学校	第五中学校	第六中学校	第七中学校	第八中学校
運動部	陸上競技部	○	○	○		○		
	野球部	○	○	○	○	○(男)	○	○
	サッカー部	○	○	○	○	○(男)	○(男)	○
	バスケットボール部	○(男女)	○(男女)	○(男女)	○(男女)	○(男女)	○(男女)	○(男女)
	バレーボール部	○(女)	○(男)	○(女)	○(男女)	○(男女)	○(女)	○(女)
	ソフトテニス部	○(男女)				○(男女)	○(女)	
	硬式テニス部		○(女)					○(男女)
	ソフトボール部	○(女)	○(女)		○(女)	○(女)		
	卓球部		○(男女)	○	○	○		○
	バドミントン部		○(男女)	○			○	○
	剣道部	○	○	○		○		
	弓道部	○						
	水泳部	○						
	ラグビー部		○					
	ダンス部					○		
	美術部	○	○	○	○	○	○	○
	吹奏楽部	○	○	○	○	○	○	
	合唱部		○		○	○	○	
	音楽部							○
	茶道部				○(茶華道)			○
手芸部			○		○	○(手工芸)		
文化部	検定チャレンジ部	○						
	理科報道部		○			○		
	和太鼓部	○						
	日本文化部	○						
	尺八部			○				
	科学部				○			
	英語部					○		
	演劇部						○	
	パズル部						○	
	文芸部							○
	将棋部							○
	囲碁部			○				
	鉄道研究部							○
	パソコン部							○
	土曜学習部							○
	園芸部							○
8組クラブ			○					

《アンケート結果（参考）》

学校を選択する際に必要とする情報	
中学校2年生 生徒・保護者 指定校以外に入学した生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・「部活動の状況」が22%程度 ・「卒業生の進学状況」が18%程度
中学校2年生 生徒・保護者 指定校に入学した生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・「部活動の状況」が21%程度 ・「卒業生の進学状況」が21%程度
小学校5年生 児童・保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・「部活動の状況」が22%程度 ・「授業や行事の内容」が21%程度

(2) 教職員の負担軽減について(新規改善)

今回のアンケート調査では、学校選択制の実施について教職員からは一定の支持が得られているものの、児童生徒・保護者の支持率と比較すると、制度運営に伴う教職員の負担増加などの課題が挙げられていることから、その割合に若干の差が見られる結果となりました。

このことから、円滑な制度運営を図るためには、教職員の負担軽減に配慮した取組を行う必要があります。

【今回のアンケート調査の結果を受けて実施した取組】

- 新規に作成した各学校の紹介について、教育委員会で把握している情報は事前に記入しておくことや様式の記載例を作成するなど教職員の負担軽減に配慮しました。

《学校へ送付した統一様式の記載例》

〇〇中学校

〇〇中学校

記載例

学校概要

- 校 長
- 副 校 長
- 所 在 地 調布市
- T E L
- E-mail
- U R L
- 文 通

生徒数・学級

		1年	2年	3年	特別学級数	合計
別冊	男子					
	女子					
	計					

(平成30年5月1日 現在)

ここからはレイアウト変更しないようお願いします

ここからはレイアウト変更していただいて構いません

《学校の教育目標などを掲載してください》

【教育目標】

- ◎自ら学び、考える人になろう
- ◎礼節を重んじ思いやりのある人になろう
- ◎健康増進しまする人になろう
- ◎体を鍛え健康な人になろう

だれもが生き生きと生活し、安心して通える学校を目指しています。生徒は、「授業集中」「行事参加」「部活動中」を合い言葉に学校生活に取り組んでいます。教職員は、調布市民の期待に応えるべく、生徒・保護者との信頼関係を常に重視した教育活動を実践しています。

《主な年間行事などを掲載してください》

<p>4月 入学式</p> <p>5月 生徒総会、体育祭</p> <p>9月 職場体験、修学旅行</p> <p>10月 合唱祭</p> <p>1月 スキー教室</p> <p>3月 卒業式</p>	<p>5月 生徒総会 (写真)</p>	<p>10月 合唱祭 (写真)</p>
	<p>9月 職場体験 修学旅行 (写真)</p>	<p>1月 スキー教室 (写真)</p>

《新活動の紹介や実施結果などを掲載してください》

【平成29年度の各部活動の紹介】

陸上競技	野球	サッカー	ラグビー
〇〇大会優勝			
女子ソフトボール	女子硬式テニス	バドミントン	男子バレーボール
男子バスケットボール 目標：〇〇大会出場	女子バスケットボール	卓球	剣道
美術 〇〇が1進修	合唱	吹奏楽	理科館道 前編を発行しています

《その他自由に掲載してください》

- 61 -

3 継続する取組について

今回のアンケート調査で挙げられた課題等を解消するために、既の実施している取組については今後も継続実施します。

(1) 学校の序列化や学校間格差に関する取組(継続)

アンケート調査結果により、主に教職員から学校規模による格差に関する意見が挙げられました。教育委員会においては、調布市全体の生徒数が増加傾向であることや施設の状況などを考慮して、今後も引き続き、受入れ人数等の調整を行う必要があります。

【継続する取組】

- 学校規模による格差や序列化が極力生まれることのないよう、各学校の生徒数や学校施設の状況を考慮しつつ、学校長とも協議し、一つの学校で35人を基本とした受入れ定数を設けています。また、受入れ定数を大きく超えた場合は、公開抽選を行っています。

(2) 通学経路の安全確認に関する取組(継続)

アンケート調査結果により、主に中学校教職員から通学経路に関する意見が複数挙げられました。今後も学校と教育委員会が協力して、生徒の通学経路の安全確保に努める必要があります。

【継続する取組】

- 生徒の通学手段については、通学時の安全を確保するため、徒歩または公共交通機関の利用を条件としています。
また、学校選択制の案内冊子等では、児童と保護者が通学時の安全面を確認するために、事前に「通学方法や所要時間」などを考慮し、責任を持って学校を選択するように案内しています。

(3) 情報の発信に関する取組(継続)

アンケート調査結果より、児童生徒・保護者から「制度自体を知らなかった」との意見や早期の情報発信を望む意見が複数挙げられたことから、引き続き、制度案内を充実させていく必要があります。

【継続する取組】

- 市報では、学校選択制の情報を4月(学校公開予定日の掲載)、9月(制度案内・学校公開予定日の再掲)、11月(選択制希望票提出期限のお知らせ)の年3回、掲載しています。
また、市ホームページにも学校選択制の案内冊子(カラー版)を掲載しています。

4 今後、推進する取組について

○特色ある学校づくりに向けた取組

今回実施したアンケート調査の結果から、学校を取り巻く環境が複雑化・多様化し、学校教育の更なる充実が求められているなかで、学校選択制を実施している中学校では、限りある人員や財源のなかでの特色ある教育活動の推進に苦慮していることが把握できました。

調布市教育委員会では、これまでも特色ある学校づくりに向けて、地域の様々な経歴をもった方々が子どもたちの指導に関わることができる「学校支援地域本部事業」を活用するなど、学校への支援を継続して推進してきましたが、より一層の支援体制の充実を図ります。

【推進する取組】特色ある教育活動の推進（指導室）

- 外部指導員の活用による部活動への支援、ゲストティーチャーや学校協力員を活用した教育活動、地域の方々と連携した児童・生徒のボランティア活動などを通じて、児童・生徒が豊かな人間性を培い、生き生きとした学校生活を送ることができるよう、地域に開かれた学校づくりを目指します。

【推進する取組】地域人材等を活用した教育の充実（指導室）

- これまで設置してきた「学校支援地域本部」を「地域学校協働本部」に発展させるとともに、未設置校へ計画的に設置し、様々な活動を通じて地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの成長を支える体制を整備します。また、学校関係者による評価の充実を図ることで、学校・家庭・地域が現状と課題認識を共有し、学校経営の改善につなげます。